

イベント情報

押し花絵展

自然の中にある花や草を押し花にして新しい命を吹き込んだ「押し花絵」、サークル「野の花」のみなさんが心をこめて作った作品を約40点展示します。

開催期間 7月20日(土)から9月16日(月)まで
協力 押し花絵の会サークル「野の花」(代表清水はるこ)
開催場所 森林科学館
押し花絵・サマースクール
自然の中の花や草を押し花にして新しい命を吹き込み、押し花絵を作ってみよう。
教室が開いている日と時間

7月28日(日)
8月 3日(土)6日(火)7日(水)8日(木)17日(土)
午前10時から12時まで(所要時間最低30分)
協力 押し花絵の会サークル「野の花」(代表清水はるこ)
開催場所 森林科学館
材料費 200円くらい
入館料 大人400円・小中学生200円(町内中学生以下無料)

里山の工作教室

版木にオオムラサキを彫り、和紙にプリントしよう。
教室が開いている日と時間

8月18日(日) 午前10時から12時までの1回
定員 20名
教室が開いている日と時間
8月19日(月)20日(火)21日(水)22日(木)
23日(金)25日(日)
午前10時から12時までと午後1時30分から3時30分までの2回、
24日(土)午後1時30分から3時30分までの1回
定員 各6名
対象 小学生高学年以上
講師 坂本 孝夫(木版画家)
開催場所 森林科学館
持ちもの 彫刻刀、絵の具
材料費 1,000円
主催 長坂あぜ道の会
入館料 大人400円・小中学生200円(町内中学生以下無料)

お問い合わせ・お申込は

〒408-0022
山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
長坂町オオムラサキセンター
TEL&Fax 0551-32-6648
URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

棚田にソバをまきましよう

棚田に秋ソバをまきましよう。作業の後にソバの試食もあります。

開催日時 8月25日(日)午前10時から12時まで
定員 20名
開催場所 日野春農村公園(オオムラサキ自然公園隣り)
持ちもの 汚れても良い服装
小雨決行

昆虫標本作り教室

カブトムシやクワガタなどの標本を作ろう。

教室が開いている日と時間
8月11日(日)24日(土)
午前10時から12時まで

講師 白根はく製
定員 各30名
開催場所 森林科学館
持ち物 虫(甲虫)、筆記用具、はさみ、作業のできる服装
入館料 大人400円・小中学生200円(町内中学生以下は入館料)

昆虫の観察と実験

生きたテントウムシ、カナブンの観覧車や回転木馬など、昆虫の行動や特徴をわかりやすく実験をしながら解説します。

開催日時 8月4日(日)
午後1時30分から3時30分まで

講師 高家博成(多摩動物公園昆虫園)
定員 40名
開催場所 森林科学館
主催 長坂あぜ道の会
入館料 大人400円・小中学生200円(町内中学生以下無料)

森の工作教室

本立てやマガジンラックなどを作ってみよう。
(夏休みの工作について相談も受けます。)

教室が開いている日と時間
7月 24日(水)28日(日)31日(水)
8月 3日(土)7日(水)10日(土)11日(日)31日(土)
午前10時から12時まで(所要時間最低1時間)

開催場所 森林科学館
服装 作業のできる服装
材料費 500円から1000円くらい
入館料 大人400円・小中学生200円(町内中学生以下は入館料無料)

オオムラサキ通信

発行:平成14年7月19日
編集:長坂町オオムラサキセンター
〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地
TEL&Fax 0551-32-6648

No.51

オオムラサキ博士になろう!

このコーナーでは、身近な自然のことや知っているようで知らない昆虫のことなどを紹介していきます。

= ブタクサハムシ、長坂町に侵入 =

ブタクサは空き地に普通に見られる帰化雑草です。現在、センターに限らず町内に生えているブタクサでたくさんのブタクサハムシが見られます。ブタクサハムシとは北米原産の体長6-7ミリの甲虫で(写真)近年日本に侵入した話題の虫です。そこで今回は、はるばるやってきた新顔の声を聞いてみることにしましょう。「長坂町のみなさん、こんにちは。私はブタクサハムシといいます。日本では1996年に千葉県で初めて発見されました。この時ブタクサを食べていたので、昆虫学者さん達から「ブタクサハムシ」と名づけていただきました。日本は植物検疫が大変厳しいので、こっそり入国するのに苦労しました。えっ?どうやって入国したのか、ですか?その質問は勘弁してください。写真のとおり私達の姿は地味です。この町のシンボル・オオムラサキさんの美しさには到底かないません。でも、私達だって決して醜い姿ではないと自負しています。私どもの好物はブタクサ、オオブタクサなどのキク科植物です。故郷の北米では年に1-2世代しか発生できませんでしたが、暖かい日本では4-5世代発生できます。また、ブタクサも至るところに生えていて、とても住み心地がいいです。そのため現在、私達は北は岩手県から南は熊本県まで広い地域で暮らしております。私どもは小さいですがとても大食漢です。さらに、仲間の数が夏にかけて急増するので、好物のブタクサが秋の開花前に枯れてしまうこともあります。昆虫学者さん達はこのことに興味があるようで、私達にある1つの期待を寄せています。ブタクサは、人間のアレルギー性鼻炎の原因になる花粉をまき散らす害草だそうです。そこでブタクサの駆除に私どもを使えないか、というのです。先日も仲間が農業試験場とかいうところにつれて行かれ、たくさんの植物を試食させられました。ブタクサ以外にどんな植物を食べれるのか検査するのだそうです。しかしその時、私達がヒマワリの葉も食べることが判ってしまいました。ヒマワリはあなた達の観賞植物だとか…。そのため既に、私達が害虫になるのではないかと警戒している都道府県もあります。このように害虫になるか、益虫になるかは紙一重で、人間様のご都合次第です。もし害虫のレッテルを貼られたら大変です!あなた達は害虫と名のつく虫はとことん嫌い、根絶するまで駆除なさるでしょうか?ですから今、私達はあなた達の今後の対応が気になります。」(文責/小林隆人)



ブタクサハムシを見かけたら
よろしく!?

ブタクサ葉上で
交尾するブタクサハムシ

「びばりうむ長坂」横の空き
地にて
(2002, 7, 4)

エノキコーナー Vol15

ちょうの愛

夏 成葉の多いところに産む

今年の5月末にホソウチョウを見ました。
 その後しばらくすると、卵を産みましたので写真で記録しました。よく見ると春型の蝶は食草の旺盛に成長している根元に産み付けていました。
 昨年の夏型は大きな葉や茎に産み付けていました。写真で比べて見て下さい。同じように産むと思いましたが、ふ化してくる子孫のために最も条件の良いところに産卵しているのです。
 自然界はスバラシイ・チイサナ思いやりが種の保全に役立っているのだと思いました。



春 食草の幹の根元に産む

自然とオオムラサキに親しむ会会長 朝日竹夫

N・B・A・20！

このコーナーでは、オオムラサキ自然公園の今(Now)のとおき(Best)の魅力(Attractiveness)を20連発で紹介していきます。お楽しみに！！(7月17日確認)

オオムラサキのメスが羽化しました。
 オオムラサキの成虫(オスとメス)がお見合いしているよ！うまくいくかな？！
 オオムラサキの卵をエノキの葉に発見！次の世代に命を確実につなげているんだね。(7月8日発見)
 オオムラサキの卵がエノキの枝にも産み付けられていたよ！！(7月8日発見)
 公園内のクヌギの木の樹液が出ているところにオオムラサキ、カブトムシ、アオカナブン、カナブン、スズメバチなど樹液が大好きな昆虫たちが集まっているよ。
 オオムラサキの弟分、コムラサキも見つけたよ。
 ヤブカンゾウ、アレチマツヨイグサ(月見草)があちらこちらに咲いてきれい。
 水車小屋と満開の百日草がよく見合う。絵になるなあー！
 古代米の稲もアイガモたちも大きくなりました。
 昨年はまだ木が小さくて花が咲かなかったネムノキが、今年は花を咲かせているよ。
 雨ばかり降るので雑木林の中はきのこでいっぱいです。
 カナヘビ、トカゲ、ヤマカガシをよく見かけます。
 キセキレイの巣立ちを見守っていたのだが、ある日ヤマカガシが近くにいて巣を見ると空になっていた…。自然界は厳しい。
 観察歩道を歩く時はクモの巣に注意！！
 雑木林をぬける風が気持ちよい。
 チダケサシが淡紅色の小さな花を穂状につけて可愛らしい。
 ハグロトンボが水辺近くの林で飛んでいるよ。
 つる草の成長が早くて足をとられそうになります。
 栗のイガが若くて青くてきれい。
 林の中で黄色いオトギリソウを見つけた。ため息がでちゃう。



オオムラサキの成虫(上:オス・下:メス)のお見合い



水車小屋の前の棚田では百日草が満開！！



トンボの眼は？

6月30日(日)オオムラサキ自然公園において国際トンボ学会会員の石澤直也さんを講師にお招きして「トンボの観察会」が開催されました。参加した親子27名は虫取り網を片手に「あそこにいる。」「あっちだ。」とトンボの眼に負けないように目をすどくしていました。また、蝶に見える「チョウトンボ」や大型の「クロスジギンヤンマ」を発見すると大きな歓声があがっていました。

<観察されたトンボ> 14種

シオカラトンボ、コシアキトンボ、チョウトンボ、クロスジギンヤンマ、ショウジョウトンボ、ヒメアカネ、ノシメトンボ、ヨツボシトンボ、アジアイトトンボ、クロイトトンボ、ハグロトンボ、ヒガシカワトンボ、コオニヤンマ、オオシオカラトンボ

ウッド・プランターができた。

7月7日(日)森林科学館において白州ウッドクラフトスクールの清水三郎さんと息子さんのお二人を講師にお招きして「里山の工作教室」を行いました。

参加した親子25名は丁寧にやすりをかけた後クギを打って組み立て、最後にガスバーナーで焼き付けをして仕上げしていました。

小さな子供も木の板を一枚ずつやすりにかける作業を手伝い、木に触れる良い機会になったようです。



トンボの観察会の様子

15万人突破！

7月6日(土)にオオムラサキセンターの来館者数が平成7年10月オープンより15万人を突破しました。15万人目の来館者は東京都小平市より夫婦で見えられた名和誠さんと芳子さんでした。記念品を長坂町長小沢澄夫より手渡されると「びっくりしました。」と笑顔で答えていました。

オオムラサキセンターでは皆さんの来館を心よりお待ちしております。

身近な自然のお便利コンクール作品募集

身近な自然をはがきに描いて送ってください。(官製はがきに描いたものであれば画材は問いません。)

募集期間 7月1日(月)から
 9月20日(金)まで
 〒408 0022 長坂町塚川2812
 長坂町オオムラサキセンターまで

お知らせ

百日草をプレゼント

オオムラサキ自然公園に隣接する棚田8枚(50アール)に4月下旬にまいた百日草がきれいに咲いています。8月8日(山の日)より希望者は、無料で花の摘み取りができます。お盆さんのお花にどうぞ。

ギターの音色を！！

大会に向けて北杜高校ギター部の公開練習が行なわれます。皆様、応援にきてください。

公開練習日時 9月14日(土)午後2時から4時まで
 場所 森林科学館(オオムラサキセンター隣接)

生きた世界の昆虫展

アジアや南米のクワガタ、カブトムシを展示、大型のクワガタ、カブトムシなど、生きた昆虫に触れることができます。
 開催期間 7月20日(土)から8月31日(土)まで
 開催場所 森林科学館
 主催 オオムラサキセンター

夏休み中は休まず開館します。

7月20日(土)から9月1日(日)までお休み無しで開館します。ぜひお越し下さい。心よりお待ちしております。